

デフアスリートによる講演と実技体験

実施学校名 清瀬市立清瀬第三小学校

日時 令和7年12月5日（金）

場所 体育館

プログラム概要



- ・東京2025デフリンピック大会の男子デフサッカー競技において、銀メダルを獲得した男子日本代表チームの岡田拓也氏、林滉大氏、原口凌輔氏を講師に迎え、デフサッカーの魅力や障害のある方から見えている世界について講話及び実技体験を行いました。
- ・児童は、聴覚障害のあるアスリートから、これまでの苦労や努力についての話を聞くとともに、メダリストと試合をする特別な体験を通して、デフスポーツへの興味・関心を高めました。また、聴覚障害のある方に対する考え方や理解も深まりました。

体験風景

1 | 講話



児童は、講師からデフサッカーをはじめとするデフスポーツやデフリンピックの特徴に加えて、聴覚に障害のある方の苦労や手話などのコミュニケーション方法について学びました。

2 | 質疑応答



各学年代表の児童が、「サッカーを始めたきっかけ」や「試合中の選手間のコミュニケーション方法」などについて質問をしました。質問は手話通訳士を通して伝えられ、講師が丁寧に回答しました。

3 | 実技体験



各学年代表の児童と講師が、試合形式でデフサッカー体験をしました。試合中は声によるコミュニケーションが禁止され、身振りやアイコンタクトを使って意思疎通するように求められました。

4 | お礼の言葉



代表の児童が講師へ感謝の言葉を伝えました。講師からは「今後、聴覚障害のある方に出会ったときには、怖がらずに、ぜひ友達になってほしい」というメッセージが贈られました。

参加した児童の声・反応



- ・耳が聞こえない人がどんなことを思うのかを知ることができたので、今回の体験はよかったです。
- ・試合中のコミュニケーションが手話であることなど、たくさんを知ることができました。聴覚障害がある人が困っていたら進んで声をかけられるようにになりたいと思いました。
- ・耳が聞こえなくてもそれをカバーするためにしている工夫がすごいと思いました。